

## ご来賓祝辞を紹介いたします

マツモトキヨシグループ労働組合連合会は、今年の1月29日に結成大会を開催し発足しました。本日、第2回の定期中央大会を開催し5つの議案が承認され、今期の活動をスタートします。第4号議案では、10月1日に控えます会社事業拡大を受け、労連の名称変更が承認されました。

新労連結成に向けて準備をすすめています。労連として会社の成長・発展と従業員の成長・幸せを願い、働く仲間のための活動が最大化できるように各組合の活動をサポートし、連携を深めることによりはありま

### 労連会長代表挨拶



MKG 労連会長  
砂川 佳信

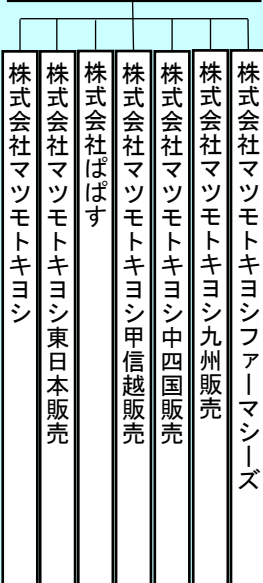
第2回労連大会開催にあたり  
ご来賓より祝辞を賜りました

せん。  
コロナ禍が長期戦の様相を呈し、日々状況が変化する環境下におきまして、変化への対応力が試されている時であり、リスクマネジメントにおいて労使の関係は益々重要なものとなるはずです。各課題に対して労使が一丸となって取り組み、この難局を乗り切って参りたいと考えられています。労使関係については、原則単組ごとの活動となりますが、グループとして情報共有は必須ではないかと思えます。いづれにしても、コロナ禍における活動を停滞させることなく、皆さんと一緒に活動に邁進していく所存でございます。



### HD組織図

株式会社  
マツモトキヨシ  
ホールディングス



2021年9月28日現在



代表員やご来賓の皆様にはWEBで参加していただきました  
2021年9月29日開催  
マツモトキヨシグループ労働組合連合会結成大会にて

# MKG

# 労連ニュース

### マツモトキヨシグループ労働組合連合会

【発行人】砂川 佳信  
【編集人】遠藤 実  
【作成者】遠藤 実  
【TEL】047-345-9180  
【FAX】047-345-9181  
【E-mail】mkunion@cocoa.ocn.ne.jp

## Vol.44

※祝電は、UAゼンセン流通部門 部門長 永島智子様、株式会社MKHD 会長 松本南海雄様、株式会社MKHD 社長 松本清雄様の3通を披露させていただきました。

### ご来賓名簿

1. UAゼンセン千葉県支部支部長 新山 斉 様※
  2. 株式会社MKHD取締役管理本部長 小部 真吾 様
  3. 株式会社MKHD管理本部人事部長 阿部 光弘 様
- ※UAゼンセン千葉県支部支部長新山様は会場で祝辞を頂戴しました



UAゼンセン千葉県支部  
支部長  
新山 斉 様



マツモトキヨシホールディングス  
取締役管理本部長  
小部 真吾 様

### 来賓祝辞

U Aゼンセン千葉県支部支部長  
新山 斉 様  
株式会社マツモトキヨシホールディングス  
取締役管理本部長  
小部 真吾 様

マツモトキヨシグループ労働組合連合会  
第2回定期中央大会



# ご来賓祝辞1～抜粋～



U Aゼンセン千葉県支部支部長  
新山 斉 様

皆さんこんにちは、U Aゼンセン千葉県支部の新年でございます。どうぞよろしくお願いいたします。マツモトキヨシグループ労働組合連合会の第2回定期中央大会のご盛會誠にありがとうございます。

## 大会会場参加へ

例年ですと、これからは大会シーズンという事で、ほぼ毎日のように、大会に出席していたんですけども、多くの組合が試行錯誤を繰り返しながら、WEBであったり、書面であったりという事で大会開催したという事でございまして、よもや今年も、同じような状況で開催するという事は、たぶん皆様方も思っていない事かと思っております。そういう中で、わたしも今年も現地会場に入つて大会に参加するという事は3つか4つ位しか、無いんだろなというところで、今日お呼びをいただきまして改めて感謝申し上げます。

## 現場の皆様へ感謝

そういった中でコロナの感染者も日に日に減少傾向

という中において、緊急事態宣言もですね、今月いっぱい解除される方向でというふうなニュースに今日なっております。ただ、そういった中で早くも12月には第6波が来るといふふう言われておりますので、経済活動が再開されて、今後どの様な感染状況になるのかというのは、誰もたぶん予測は出来ないだろうなという訳でございます。

そうは言いつても昨年1月にですね、日本国内で初めての感染者が出て早1年8ヶ月、その中で本日お越しの役員の皆様方、それから今も現場で働いていらっしゃる、エッセンシャルワーカーとしてですね、現場の最前線で働いている皆様方に、改めて敬意を表したいと思っております。

## 前回お願いした事

先程、砂川会長から話がありましたとおりの今年1月29日ですかね、グループ労連結成大会を開催され、ご挨拶中であつた方からお願いを何点かさせていただきました。まだ結成から8ヶ月という事でございまして、そのお願いがどれ位進捗しているのかというのとは分りませんけれども、前回お話をさせていただいて、今後の方向付けにと思っております。やはり労連結成で、まずはその労連の機能と役割というのを、明確化していかなくちゃいけないと思つてま

それはなぜかといいますが、今まではそれぞれの単組がですね、自己完結という状況の中で組合活動して来たというところで、新たにU Aゼンセンとそれぞれ単組の間に、労連という組織が出来た訳ですから、U Aゼンセン、それから労連、それから各単組。特に単組だから出来る事、単組しか出来ない事、労連だから出来る事、労連しか出来ない事、機能と役割というのを、早いうちにしっかりと明確化して、方向性を示したほうがいいと思います。

## グループ労使協議

当然ながら労連が結成された事によりまして、ホールディングスとですね正式な協議が出来る環境が整つたという事でございますので、まあ議案書の中でもですね、**グループ労使協議会を早期に開催していく**というふうな記載もされておりますので、是非ともですね、早い段階でそういったグループ労使協議会をですね開催。これは是非とも定例化してですね、グループの方向性について労使一丸となつて協議をしていただきたいと思つております。

## 組織力の強化・教育

次にですね、やはり組織力の強化という事になりますけれども、それぞれの組合、歴史もあればですね、育つた環境が違うという事もありますので、労連のひとつの機能としては、それぞれの単組の組織力の強化、底上げをどう図っていくかという事になるんですよ。

その時に今まではU Aゼンセンの教育であつたり、それぞれの単組の教育という事で、それぞれの組織強化を図るかという事なんです。それが、それを**労連の機能**として、**どう教育体制を確立していくか**という事をですね、しっかりと労連の中で検討していただきたいと思つてます。

その事によって全体的な底上げがどう図っていくのかという事を、労連の機能としてしっかりと構築していくべきだと思つてますので、そういった事も含めて教育をしていただくという事と、**更に組織強化する為には、新しい仲間を増やしていく**。

## 新しい経営体制に

先程砂川会長からもありましたが、10月1日から新しい経営体制になるという事でございますので、当然ながら会社が新しい体制になるという事は、労働

組合もその体制に沿つてですね、新しい体制を作つていかなければならないという事でございます。聞くとどこによると12月位をめどに新しい新労連を立ち上げるという事でございまして、そうなりますと当然ながら今、マツモトキヨシとココカラファイン合わせますと、たぶん2万名以上の組合員になるはずだと思つてます。労連としての機能と役割、これが更に大事になるという事で、グループ従業員、組合員の融和をどう図っていくか、新体制になりましたら、その融和という事もですね、念頭におきながら活動計画を、作つていただければと思つてます。

## 専従体制の機能

やはりその為には今、労連の機能としては専従体制が1名という事になりますけれども、やはりその専従体制がですね、2万名以上の労連という事になりますので、それなりのやっぱり専従体制が必要になると、じゃないと逆に機能しないという事になりますので、これは会社の方もご理解いただかなきゃいけない部分もあるかと思つてます。この専従の体制も含めた検討もその新形成までですね、是非とも積極的な取り組みをしていただければありがたいなと思つております。

## 発信力を高めて

あと最後になりますけれども、ざっと議案書を見させていただけますとニュー

スが40号まで発行されているという事で、労連が結成されて8ヶ月ですから、数えますと34週なんですかね、そうしますと週1回以上ニューズを発行しているという事でございます。やはりこういったコロナ過でも忘れがちな活動の中で、組合員に、役員の方も含めてですね、どうやって皆さんに活動を知らせていくか、どう発信力を高めていくかという事になります。今SNSとかいろいろな発信するものがありますけれども、こういった昔ながらのニューズというのがある意味新鮮味があると思つてます。

このコロナ過の時代では、そういう見方からすると、たぶん遠藤事務局長が作られていると思つてますけれども、是非ともですね発信力を落とさずに継続して続けていっていただきたいと思つております。

## 健勝と活躍を

今後、マツモトキヨシホールディングスとグループ各社並びに、マツモトキヨシグループ労連と加盟する各組合の益々の発展と、今現在も現場で働いていらっしゃる方、エッセンシャルワーカーとして勤務されている従業員の方、それから組合員の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。U Aゼンセン千葉県支部を代表しましてご挨拶とさせていただきます。本日は大変おめでとうございました。



# ご来賓祝辞2～全文～



MKHD取締役管理本部長  
小部 真吾 様

改めまして、こんにちは。ただいまご紹介いただきましたマツモトキヨシホールディングスで管理本部長をしております小部でございます。

本日はココカラファインの組合の方々もご参加いただいていることをオンライン上で確認しております。初めまして小部と申します。

**シナジー創出会社**

ただいまご紹介いただきました肩書きは実はあと3日ほどでありまして、10月1日から新しい会社という事になりますので、わたくしは統合会社のマツモトキヨシとココカラファイン、グループ管理統括に就任をさせていただきます。

それからシナジー創出会社である、MCCマネジメントの管理本部も、管理職をさせていただきます。グループ全体、マツモトキヨシグループそしてココカラファイングループの、皆さんと直接関係するところで言えば、いわゆる人事戦略でありますとか人事施策といったところを、具体的にみていく事になります。

ので、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。

## 心より敬意を表し

それでは企業側を代表しまして一言ご挨拶をさせていただきます。このままです。新型コロナウイルスがまだまだといったところでございますが、この感染症拡大という事で、生活にも影響を受けておられる皆様もおられるかと思ひます。心よりお見舞いを申し上げます。それから、皆さん日々店頭で、ご苦労されながら業務に取り組んでおられるというところでございまして、先程エッセンシャルワーカーというお話もございましたけれども、本当に最前線でも、努力をしておられる皆様には、心より敬意を表したいと思ひます。本当にありがとうございます。

## 大会開催を心より

この度はマツモトキヨシグループ労働組合連合会第2回定期中央大会の開催を心よりお祝いを申し上げます。本当におめでたいと思ひます。本当にありがとうございます。

本来ならば、このような形ではなくて、直接お伺いをして祝辞を述べさせていただきます。ただ、まだ会社としては感染予防対策を含めて徹底している最中でございますので、オンラインでのご挨拶となる事をご理解いただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。日頃は、戦略の展開という事で、経営施策へのこ

理解、ご協力をいただいております事を、また現在のマツモトキヨシホールディングスとグループの事業会社各社を支えておられますことに、心より感謝を申し上げます。

## 緊急事態宣言解除

新型コロナウイルスにつきましては、緊急事態宣言が解除の方向で報道はされていますところでございます。まん延防止等重点措置も解除されるという事で、一気に緩んでしまうのではないかと心配しているところではあります。振り返りますとグループの従業員の

## ワクチン接種

会社としてはワクチン接種が全体でも進んで来たものの、職種接種という事でいろんな動きをとってまいりましたが、ご存じのように、モデルナワクチンが政府から一旦止まってしまうなど、なかなかこのスムーズに行かなかつた時期がありまして、従業員の皆様にとって満足していく、感染予防対策

## 10月1日経営統合

ところで経営統合という事でお話がございます。今週金曜日でございます。10月1日でございます。マツモトキヨシホールディングスと株式会社ココカラファインとの経営統合がございまして、株式会社マツモトキヨシとカンパニーが誕生いたします。

## グループの理念

グループ理念ですけれども、今回のキーワードというか、理念のキーワードですけれども、「未来の常識をつくりだし人々の生活をかえていく」というキーワードを理念として掲げました。これは実はわたくし共とココカラファインさんとの共通の理念というのが、ひとつでもありますけれども、両社が地域のお客様の美容と健康の増進でありまして、生活の充実にも最大の価値をおくという共通の理念も持っています。

## グループビジョン

それからグループビジョンを掲げてます。「美しさと健やかさを、もっと楽しく、身近に。」というキーワードです。楽しく身近にという事ですね。我々は今のこのような厳しい状況の中で、改めてこの業界が社会生活インフラとして重要な役割を果たしているという事を我々も認識をしております。皆さんも認識をされたのではないのでしょうか。だからこそ、外見の美と健康に加えて体の内側にある心であるとか、精神的な美と健康の提供といった新たな役割を果たしていかなければなりません。

出来なかつたところも会社としては非常に歯がゆいところでありまして。今になって若干ワクワクチンが流通してきたという事で、ひとりでも多くの方に、職種接種を通じて、なかなかワクワクチンの予約が出来ない方は、是非受けていただいで感染防止に繋げていただきたいという思いもありませんし、特別臨時手当など、いろんな施策を展開してまいりました。今後もここについては労使で色々協議をしながらです。ね、いろんな対策をとっていただければいいかなとこのように考えている次第でございます。

ココカラファインさんと合わせると3000店舗を越える、店舗網でございます。そして、地域のお客様にとつても、もっとも身近な日本最大のドラッグストアグループという形の位置づけになる訳でございます。皆さんはその一員として、ご活躍をいただくといい事になります。

グループ理念としては、やはり未来の美と健康を考え抜いて、新たな顧客体験を創り出して、輝きをまましていく生活、それから地域社会の実現に貢献していきたいという事、こういう事をうたつておられるという事を前提としてご理解いただきたいなと思ひます。

したがって互いの各種のリソースであるとか、インフラとか、ノウハウとか、これを相互に活用する事が出来るというところで、これが統合のやはり大きなメリットという事になります。

グループ理念としては、やはり未来の美と健康を考え抜いて、新たな顧客体験を創り出して、輝きをまましていく生活、それから地域社会の実現に貢献していきたいという事、こういう事をうたつておられるという事を前提としてご理解いただきたいなと思ひます。

# ご来賓祝辞2～全文～

そして人の思いに敏感で身近な存在であり続ける事の努力、これを大切に、生活や地域により大きな安心と喜びをお届けするために挑戦していきます。このように思いを、ビジョンの中に表しています。

ここではいろいろなキーワードが出てきましたけれども、やはり我々がアイディアとか、積極的にとか目指していくという事を、このような言葉は纏められていきますけれども、いわゆる細部には挑戦をしていくという我々の意欲をしっかりと示していかなければいけないと考えています。

## グループ経営目標

こうした理念とビジョンのもとに、我々が達成していかなければいけない経営目標というのを具体的に数字で示しています。この2社がひとつになる訳ですから、どれだけの規模になるかという事と、どのような数字を目指して行かなければいけないのかというところが、2026年3月期にはグループ売上高1・5兆円、営業利益率は7%です。今の利益率からすると非常に高いハードルかも知れませんが、一緒に頑張る事によって、どんなシナジーが生まれて収益性が高まっていくはずですよ。

これは是非、従業員の皆様、組合員の皆様にもご協力いただき、この数値目標を達成させていきたいと思っております。

これを達成する事によって、やはりアジアナンバー1のドラッグストアであり、そ

して美と健康の分野でリーディングポジションというのを、確立して行く事が出来るかと、こういうふうにも思っているところでございます。

## 組合員の皆様と

こうしたグループ理念、ビジョンを掲げて、この経営統合を我々も飛躍へ向けた成長にしたいというふうな捉えたいかと思っておりますので、これはマツモトキヨシグループもそうだし、ココカラファイングループの皆さんもそうじゃないかなと、こういうふうにも思っています。

是非、組合員の皆様と共に、これは協力して、今回の統合で新しい仲間が増えていくという事にもなる訳ですから、是非一丸となつて達成に向けて努力をしていきたいなと思っております。是非に考えておりますし、是非会社としても組合員の皆様にお願いをしたいと、このように考えておるところでございます。

最後になりますけれども、引き続き皆さんが家族と共に感染症対策をしっかりとりながら、心も身体も健康に過ごせるように是非先程申し上げた達成目標に向かって、いろいろなものを乗り越えて、邁進して行きたいというふうにも考えております。

## 労連組織の強化

まさにマツキヨココカラ&カンパニーとして、さらなる飛躍を図って、これから皆さんひとりひとりが働きがいのある職場環境づく

りというのを会社としても目指していきますので、是非組合員の皆様のご協力もお願いしたいと思っております。先程新山さんのお話でも組織強化といったようなお話がございました。これは会社とも通じるところでございまして、会社としてもそれぞれの企業が強化されるれば、より強い組織になる訳であります。是非労連、単組としても、組合の組織としての是非機能を強化していただいで、そうすればより強い労連としての組織になるのかなと、このようにも思っています。新山様から専従のプレッシャーをうけたような理解をしておりますけれども、この場でお約束は出来ませんが、いずれはそういう体制をしっかりと考えながら、労連としての組織強化に邁進していただきたいと思っております。以上簡単でございますが、会社側のご挨拶とさせていただきます。本日は第2回定期中央大会にお招きをいただきまして本当にありがとうございます。本日は誠にありがとうございます。ありがとうございました。



会場出席の新山支部長の来賓挨拶





WEB出席の小部取締役管理本部長の来賓挨拶



左から、MK甲信越ユニオン大竹委員長、ばばすユニオン岡委員長、MK東日本ユニオン尾田委員長、ココカラファインユニオン原委員長、マツモトキヨシ労働組合砂川委員長、ココカラファインユニオン大石専従書記、MK中四国ユニオン坂田委員長、MK九州ユニオン山口委員長、マツモトキヨシ労働組合遠藤顧問  
※役職は単組役職で表記しています

10月1日からマツキヨココカラ&カンパニーが発足します。MKG労連は12月にマツキヨココカラ&カンパニー労働組合連合会に移行する予定です。第1回大会から8か月ですが、既に会社統する準備を進めます。グループ組合加盟の組合員の皆様には、組織変更に向け都度お知らせをさせていただきます。ご協力をお願いいたします。

今年の1月29日に労連が結成され、9月28日に第2回定期中央大会を開催しました。その間、組合員の方から「労連って何をやるんですか？」と聞かれることがあります。「MKG労連はスローガンにある『会社の成長と従業員の成長』を願っています。グループ組合員の幸せを考え、グループ会社の加盟組合のフォローをして、労連に対する要望で、「コロナで、疲弊しているから、地域のイベントをしてほしい」という意見があり、まだイベントなどの活動はできません。10月から11月にかけて各組合の大会で具体的な活動が提案されます。労連は、加盟組合執行部の活動を支援することで、組合員の皆様の幸せをお役立ちができればと考えています。

労連事務局長 遠藤 実